

資料1

八尾市立病院の業務状況(令和2年度)

令和3年8月26日

1. 令和2年度の業務状況

(1) 概況

令和2年度は2度の緊急事態宣言が発出される厳しい状況にあり、当院においては府や市保健所等からの要請に対し、病院長の強いリーダーシップの下、新型コロナウイルス感染症に係る検査の実施や入院患者の受け入れなど、公立病院として最優先で新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。また「八尾市立病院経営計画(Ver.Ⅲ)」の最終年度として、これまでの経営計画での「公立病院としての役割」「医療の質の向上」「健全経営の確保」の視点で取り組みを継続し、医療スタッフの確保に注力しながら、医療機能の向上と健全経営の維持に努めてきたが、コロナ禍にあっては個々の取り組みにおいて縮小を余儀なくされ、患者数が大幅に減少するなど経営面への影響が現れたことで令和2年度は純損失を計上した。

(2) 経営状況

令和2年度の年間延入院患者数は104,183人、病床利用率は75.1%となり、患者数は前年度から20,064人減少し、病床利用率は前年度を14.2ポイント下回った。また、年間延外来患者数は174,383人となり、前年度から37,797人減少した。

医業収益では、入院については、新型コロナウイルス感染患者の病床を確保したほか、不急な手術を控えざるを得ないなどの状況により、患者数が減少し入院収益は前年度を下回った。外来についても、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えや紹介状のない初診患者の受け入れを制限したことにより、患者数が減少し、外来収益も前年度を下回ったことで、医業収益は対前年度で約12億7,800万円減少した。

医業費用では、職員数の増加などに伴い給与費が増加したが、患者数の減少に伴って材料費が減少するなど、医業費用は対前年度で約5,100万円減少し、病院事業費用では対前年度で約2,700万円の減少となり、その結果当年度純損失は約1億3,300万円となった。

主な経営指標については、経常収支比率が98.9%、医業収支比率が86.7%となった。なお、一般会計からの繰入金や新型コロナウイルス感染症に係る負担増に対しての国や府からの補助金は増加したが医業収益ではないため、患者数の減により医業収益が減少している中で、人件費等の固定経費に加え、新たに感染症対策経費がかかることから、医業収支比率は必然的に低下した。また、収益に対する職員給与費は、令和2年度から会計年度任用職員制度の創設のため、地方公営企業会計基準による職員給与費の計算基準が変更されたことにより前年度から11.1ポイント増加し、医業収益に対する材料費の割合は、患者数の減少による医業収益の減少が大きく影響し、前年度から1.0ポイント増加した。

経営状況については以上であるが、令和2年度決算では、これまでから健全経営を計る指標として重視してきた資金剰余額(流動資産-流動負債)は、対前年度から約2億7,500万円増加し、約36億7,000万円となった。この資金剰余額の状況は、今後の新型コロナウイルス感染症などの影響により収支が悪化したとしても、病院運営上、直ちに問題が生じる水準ではなく、現時点では健全経営を維持しているものと総括している。

一方、収支が悪化したことで、利益剰余金は対前年度から約1億3,300万円減少し、約8億3,700万円となった。新型コロナウイルス感染症の影響を受けるまでは、大阪府下の他院と比較しても高い病床利用率と高度医療の提供による入院・外来診療単価の増などの経営努力により、医業収益を増やし、単年度純利益(黒字)を計上してきたが、新型コロナウイルス感染症に最優先で対応することで、感染患者の受け入れのための病床確保や、紹介状のない初診患者の受け入れ制限等による患者数減少の影響は大きく、医業収益は大幅に減少してお

り、一般会計からの繰入金や国や府からの補助金等はあるものの、2年続けて単年度純損失(赤字)を計上した。

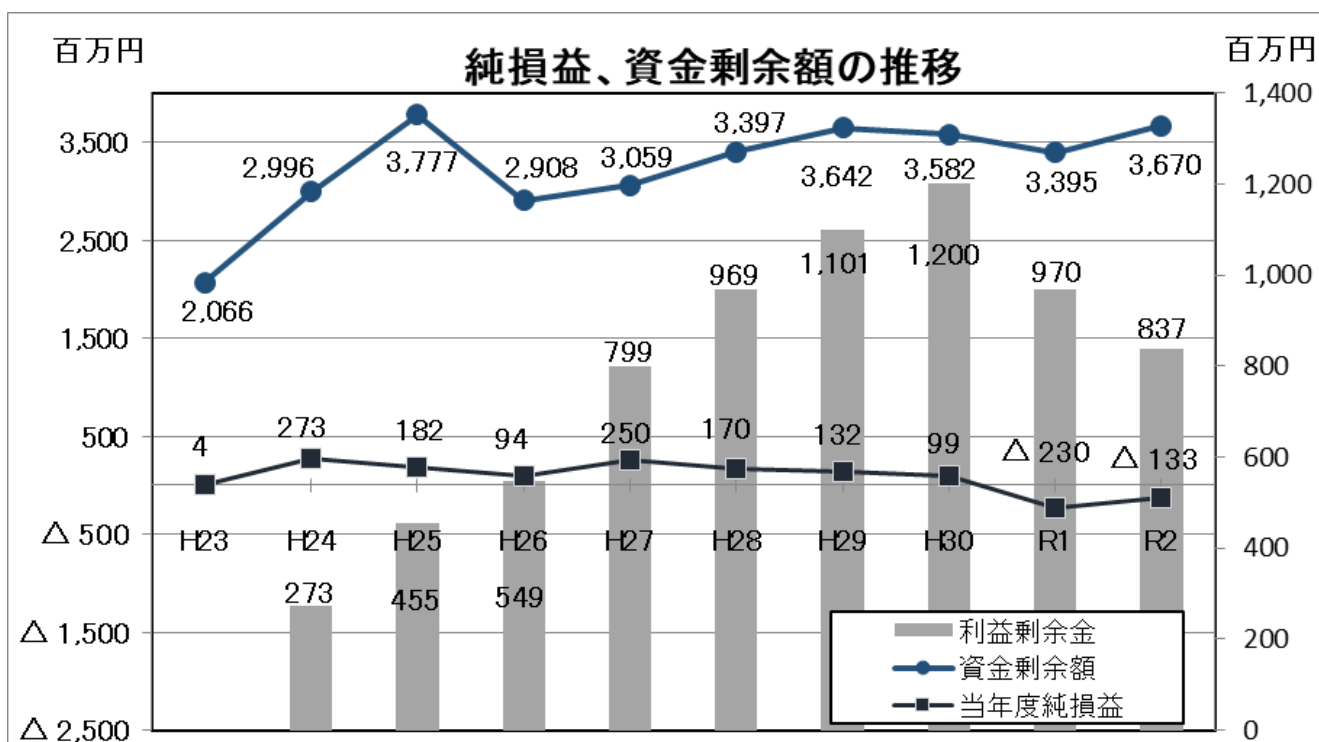
このように感染症に対応することで、収益は悪化しているが、公立病院の役割である不採算医療に取り組む政策医療のひとつとして、新型コロナウイルス感染症への対応は引き続き最優先で取り組んでいく。

新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は日々変化し、第4波では当院でも重症患者の対応を余儀なくされるなど、依然病院運営を取り巻く環境は厳しさを増しているが、そのような時だからこそ、危機感を共有し病院職員一丸となって、より一層の収支改善に努めていきたい。

(3) 経営計画との比較

「八尾市立病院経営計画(Ver.Ⅲ)」との比較では、年間延入院患者数は計画を 20,647 人、病床利用率は計画を 14.9 ポイント下回り、年間延外来患者数では計画を 29,357 人下回った。また、患者1人1日当たりの診療収入は、入院では計画を 2,609 円、外来は 4,402 円上回った。なお、当年度純損益は計画より約 1 億 5,300 万円下回ったが、資金剰余額は計画より 6 億 3,700 万円上回った。

主な経営指標については、医業収支比率が医業収益の減少により 12.0 ポイント下回り、経常収支比率は経常費用の伸びが経常収益の伸びを上回ったため、計画に 1.4 ポイント届かなかった。



※利益剰余金は減資により累積欠損金を解消した平成 24 年度以降を表示

2. 新型コロナウイルス感染症にかかる取り組みについて

(1) 当院での感染症対応にかかる考え方について

新型コロナウイルス感染症については、令和2年1月に国内で初めて感染が確認された後、令和2年1月28日に、「新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令」が公布され、令和2年2月1日に施行された。このような中で、当院においては、令和2年1月30日に院内の危機管理対策委員会を八尾市立病院における新型コロナウイルス感染症対応の中核と位置づけ、対応策の検討を開始した。

感染症の治療については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の分類により対応すべき医療機関として、感染症指定医療機関が決められており、原則として特殊な設備を備えた医療機関で治療できることになっている。

一方で、八尾市立病院のように、地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク分娩の受け入れ等により、妊産婦の入院を含む診療を行う病院であり、地域がん診療連携拠点病院として、免疫抑制剤や抗がん剤による治療を行うがん患者等が通院治療している病院は、上記のようなハイリスク患者への感染リスクの観点から、本来は感染患者の受け入れは避けるべき位置付けの医療機関とされている。さらに、当院には、呼吸器内科医、感染症専門医が常勤していないため、感染患者の積極的な受け入れは難しいと認識していた。

しかしながら、公立病院として、新型コロナウイルス感染症に関しては、毒性・感染力・社会的影響等を総合的に判断し、院内感染が発生しないよう最大限の対策を講じながら対応していくということを院内の危機管理対策委員会で決定した。

(2) 当院における新型コロナウイルス感染症にかかる対応について

●危機管理対策委員会を中心とした対応

当院においては、令和2年1月30日の第1回危機管理対策委員会の開催後、同委員会をほぼ毎週のように実施(令和3年7月末までに102回)しており、状況が目まぐるしく変化する新型コロナウイルス感染症に対応するため、危機管理対策委員会の下部組織として、外来、病棟、小児・周産期のワーキングを設置して、様々な対応策を検討した。さらに、情報共有の手段として、院内にメーリングリストを複数設置し、情報共有を行うとともに、決定事項を統合した「八尾市立病院新型コロナウイルス対応マニュアル統合版」を整備した。

また、令和2年度当初はマスクや防護具の不足により、物資調達に追われたが、PFI事業者が積極的に確保に努めただけでなく、行政機関からの物資提供、市民等からの多くの寄付、企業等による感染防護エプロンの作成等の多くのご支援をいただいた。

●検査・診察体制の整備

・「帰国者・接触者外来」の設置

国内発生早期の令和2年2月6日には市保健所からの要請に応じて「帰国者・接触者外来」を設置して、市保健所から依頼に基づくPCR検査を開始した。

・PFI事業の協力企業への検査委託

当初は市保健所を通じて大阪健康安全基盤研究所(大安研)に検査を依頼していたが、市保健所の業務軽減に協力するため、令和2年3月6日にPCR検査について公的保険が適用されたことを受け、PFI事業の強みを生かし、協力企業への検査委託を3月16日に開始した。なお、検査翌日に結果が判明する迅速な対応により、感染対策に非常に効果的だった。

・「紹介救急外来」の設置

地域の医療機関からの紹介による発熱症状等の患者に対応するため、診察に併せてPCR検査等も実施する「紹介救急外来」を令和2年5月8日に設置した。

・院内PCR検査の整備

院内でPCR検査ができるように整備するため、京都大学の共同研究に参加することでPCR検査機器の無償貸与を受け、令和2年10月9日に院内でPCR検査ができるように整備した。

・「八尾市立病院特設診療・検査センター（YSKセンター）」の設置

感染拡大状況とインフルエンザとの同時接種への対応のため、市からの要請に応え、病院の敷地内に「八尾市立病院特設診療・検査センター」を設置し、1日最大100件程度の検査に対応できるような体制をとり、令和2年12月1日に開始した。

・院内での抗原（定量）検査

当院の検査機器について、定量検査にかかる試薬が承認されたため、院内での抗原定量検査を令和2年12月4日から開始した。

※上記の検査・診察対応にあたり、将来的にも災害・感染症等で活用できるように、平常時は駐車場として活用し、災害・感染症対応時はプレハブを設置できるように、補助金を活用して令和2年度に基礎工事を順次行い、病院北側駐車場を再整備した。

現在は、プレハブ2棟（1棟に2室）、エアテント3基を配置して対応している。

●感染患者の入院受け入れ体制 ※感染患者受け入れ病床確保の主な経過

・「帰国者・接触者外来」の設置に合わせて、令和2年2月6日に院内の陰圧室1床を確保。

・令和2年3月9日の市内陽性患者の発生に伴い、同日病床確保数を5床に拡大。

・令和2年3月26日、感染患者の状況に合わせて、病床確保数を10床に拡大。

・令和2年4月13日、感染患者の状況に合わせて、病床確保を1病棟（50床を閉鎖して、感染患者等23人対応）に拡大。

※上記以降は、感染状況に合わせて、10～23人の範囲で確保病床を変更して対応

・令和2年12月7日、感染拡大に伴い、病床確保を2病棟（100床を閉鎖して、感染患者等45人対応）に拡大。

※上記以降は、感染状況に合わせて、23～45人の範囲で確保病床を変更して対応

（注）当院は感染症指定医療機関ではないため、感染リスクを避けるために、4床部屋に4人の感染患者を入院させることは難しく、1病棟50床を閉鎖しても半数以下の感染患者数しか入院させられない状況であるが、感染対策管理室の主導のもとレッドゾーンを明確にしたゾーニングを行い、感染対策を万全にした上で、可能な限りの病床を確保した。

また、病棟では、感染防止対策として面会者の来院を禁止し、それに伴い、病棟におけるインターネット環境を整備し、分娩や面会ができない患者への対応、入院中の荷物の受け渡し所の設置など、入院患者の利便性の向上を図った。

●新型コロナワクチン接種

・令和3年3月10日、新型コロナウイルス感染症患者の入院受け入れ数が多い病院として、大阪府からの通知のもと、医療従事者優先接種を院内職員に開始した。

（参考）ワクチン接種については、令和3年度において、地域の医療従事者向けのワクチン優先接種、集団接種（市の会場の一つ）、個別接種を実施している。

（3）新型コロナウイルス感染症にかかる対応状況 ※令和2年度末現在

・感染患者入院受け入れ数（疑似症を含む）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|----------|----|----------|
| 令和元年度 | 延べ17人 | 令和2年度 | 延べ4,340人 | 合計 | 延べ4,357人 |
|-------|-------|-------|----------|----|----------|

・検査件数

| | | | | | |
|-------|-------|-------|----------|----|----------|
| 令和元年度 | 延べ71件 | 令和2年度 | 延べ5,155件 | 合計 | 延べ5,226件 |
|-------|-------|-------|----------|----|----------|

・ワクチン接種数

| | |
|-------|--------|
| 令和2年度 | 延べ805人 |
|-------|--------|

2. 八尾市立病院経営計画の達成状況

| 項目 \ 年度 | 令和元年度 決算 (a) | 令和2年度 経営計画 (b) | 令和2年度 決算見込 (c) | 令和2見込 -元決算 (c)-(a) | 令和2見込 -2計画 (c)-(b) | 計画に対す る達成率(%) ※4 |
|---|--------------------|----------------------|----------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|
| 年間延入院患者数(人) | 124,247 | 124,830 | 104,183 | △ 20,064 | △ 20,647 | 83.5 |
| (病床利用率)(%) | (89.3) | (90.0) | (75.1) | (△14.2) | (△14.9) | (83.4) |
| 年間延外来患者数(人) | 212,180 | 203,740 | 174,383 | △ 37,797 | △ 29,357 | 85.6 |
| 入院患者1人1日当たり診療収入※1 (入院収益÷年間延入院患者数)(円) | 68,740 | 71,079 | 73,688 | 4,948 | 2,609 | 103.7 |
| 外来患者1人1日当たり診療収入※1 (外来収益÷年間延外来患者数)(円) | 20,186 | 18,217 | 22,619 | 2,433 | 4,402 | 124.2 |
| 当年度純損益(病院事業収益-病院事業費用)(百万円)※1 | △ 230 | 20 | △ 133 | 97 | △ 153 | - |
| 資金剰余額(百万円) | 3,395 | 3,033 | 3,670 | 275 | 637 | 121.0 |
| 経常収支比率(経常収益÷経常費用× 100)(%)※2 | 98.3 | 100.3 | 98.9 | 0.6 | △ 1.4 | 98.6 |
| 経常収益に対する繰入金の割合(%) | 5.9 | 5.6 | 6.7 | 0.8 | 1.1 | 83.6 |
| 医業収支比率(医業収益÷医業費用× 100)(%) | 95.4 | 98.7 | 86.7 | △ 8.7 | △ 12.0 | 87.8 |
| 医業収益に対する職員給与費の割合 (%) ※3 | 46.2 | 48.1 | 57.3 | 11.1 | 9.2 | 83.9 |
| 医業収益に対する材料費の割合(%) | 26.3 | 26.4 | 27.3 | 1.0 | 0.9 | 96.7 |

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 令和2年度より会計年度任用職員制度創設のため、地方公営企業会計による職員給与費の計算基準が変更された。なお令和2年度経営計画値は変更前の計算基準(臨時的任用職員に係る賃金等を除いたもの)から算出した比率である。

※4 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は(b)÷(c)×100、その他の項目は(c)÷(b)×100。

3. 令和2年度の収支状況

| | | (税 抜) | | | (百万円) | | |
|-----------------------|---------|-----------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------------|
| 項 目 | 年 度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和2年度 | R2見込 | R2見込 | 計画に対する 達成率(%) ※1 |
| | | 決算 (a) | 経営計画 (b) | 決算見込 (c) | -R1決算 (c)-(a) | -R1計画 (c)-(b) | |
| 収 益 的 収 支 | 病院事業収益 | 14,808 | 14,288 | 14,878 | 70 | 590 | 104.1 |
| | 經常収益 | 14,765 | 14,283 | 14,833 | 68 | 550 | 103.9 |
| | 医業収益 | 13,476 | 13,223 | 12,198 | △ 1,278 | △ 1,025 | 92.2 |
| | 入院収益 | 8,541 | 8,873 | 7,677 | △ 864 | △ 1,196 | 86.5 |
| | 外来収益 | 4,283 | 3,712 | 3,944 | △ 339 | 232 | 106.3 |
| | その他医業収益 | 652 | 638 | 577 | △ 75 | △ 61 | 90.4 |
| | 医業外収益 | 1,289 | 1,060 | 2,635 | 1,346 | 1,575 | 248.6 |
| | 特別利益 | 43 | 5 | 45 | 2 | 40 | 900.0 |
| | 病院事業費用 | 15,038 | 14,268 | 15,011 | △ 27 | 743 | 95.1 |
| | 經常費用 | 15,018 | 14,244 | 14,993 | △ 25 | 749 | 95.0 |
| | 医業費用 | 14,127 | 13,398 | 14,076 | △ 51 | 678 | 95.2 |
| | 給与費 | 6,642 | 6,673 | 7,021 | 379 | 348 | 95.0 |
| | 材料費 | 3,547 | 3,493 | 3,333 | △ 214 | △ 160 | 104.8 |
| | 経費 | 2,652 | 2,254 | 2,666 | 14 | 412 | 84.5 |
| | 減価償却費 | 1,223 | 903 | 949 | △ 274 | 46 | 95.2 |
| | その他 | 63 | 75 | 107 | 44 | 32 | 70.1 |
| | 医業外費用 | 891 | 846 | 917 | 26 | 71 | 92.3 |
| | 特別損失 | 20 | 24 | 18 | △ 2 | △ 6 | 133.3 |
| | 經常損益 | △ 253 | 39 | △ 160 | 93 | △ 199 | - |
| | 純 損 益 | △ 230 | 20 | △ 133 | 97 | △ 153 | - |

| | | (税 抜) | | | (百万円) | | |
|-----------------------|--------|-----------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------------|
| 項 目 | 年 度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和2年度 | R2見込 | R2見込 | 計画に対する 達成率(%) ※1 |
| | | 決算 (a) | 経営計画 (b) | 決算見込 (c) | -R1決算 (c)-(a) | -R1計画 (c)-(b) | |
| 資 本 的 収 支 | 資本的収入 | 1,536 | 1,006 | 1,430 | △ 106 | 424 | 142.1 |
| | 企業債 | 846 | 270 | 549 | △ 297 | 279 | 203.3 |
| | 出資金 | 0 | 0 | 100 | 100 | 100 | 皆 増 |
| | 負担金 | 674 | 736 | 736 | 62 | 0 | 100.0 |
| | 補助金 | 16 | 0 | 45 | 29 | 45 | 皆 増 |
| | 資本的支出 | 2,220 | 1,926 | 2,142 | △ 78 | 216 | 89.9 |
| | 建設改良費 | 976 | 560 | 776 | △ 200 | 216 | 72.2 |
| | 企業債償還金 | 1,244 | 1,366 | 1,366 | 122 | 0 | 100.0 |
| | 差引合計 | △ 684 | △ 920 | △ 712 | △ 28 | 208 | 129.2 |

| | | (税 抜) | | | (百万円) | | |
|--------------|-----|-----------|-------------|-------------|------------------|------------------|------------------------|
| 項 目 | 年 度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和2年度 | R2見込 | R2見込 | 計画に対する 達成率(%) ※1 |
| | | 決算 (a) | 経営計画 (b) | 決算見込 (c) | -R1決算 (c)-(a) | -R1計画 (c)-(b) | |
| 利益剰余金 ※2 | | 970 | 793 | 837 | △ 133 | 44 | 105.5 |
| 資金剰余額 ※3 | | 3,395 | 3,033 | 3,670 | 275 | 637 | 121.0 |
| 企業債残高(3月末現在) | | 13,192 | 11,519 | 12,374 | △ 818 | 855 | 93.1 |

※1 計画に対する達成率(%)の計算式について、網掛けの項目は (b)÷(c)×100、その他の項目は (c)÷(b)×100。

※2 令和2年度の利益剰余金＝令和元年度利益剰余金(970)＋当年度純損失(△133)

※3 令和2年度の資金剰余額＝流動資産(7,623)－流動負債(3,953)

4. 主な収益・費用の増減

| | | | | (税抜) | (千円) |
|---|-----------|------------|------------|-------------|---------|
| 項 | 目 | 令和2年度見込 | 令和元年度 | 増減額 | 増減率(%) |
| 病 | 院事業収益 | 14,877,535 | 14,808,586 | 68,949 | 0.5 |
| | 医療収益 | 12,198,050 | 13,475,648 | △ 1,277,598 | △ 9.5 |
| | 入院収益 | 7,677,082 | 8,540,758 | △ 863,676 | △ 10.1 |
| | 外来収益 | 3,944,295 | 4,283,123 | △ 338,828 | △ 7.9 |
| | その他医療収益 | 576,673 | 651,767 | △ 75,094 | △ 11.5 |
| | 一般会計負担金 | 269,790 | 274,772 | △ 4,982 | △ 1.8 |
| | その他 | 306,883 | 376,995 | △ 70,112 | △ 18.6 |
| | 医療外収益 | 2,634,506 | 1,289,282 | 1,345,224 | 104.3 |
| | 受取利息及び配当金 | 3,353 | 5,476 | △ 2,123 | △ 38.8 |
| | 他会計補助金 | 111,079 | 105,154 | 5,925 | 5.6 |
| | 他会計負担金 | 607,478 | 487,120 | 120,358 | 24.7 |
| | 補助金 | 1,323,805 | 10,824 | 1,312,981 | 12130.3 |
| | 長期前受金戻入 | 439,210 | 609,616 | △ 170,406 | △ 28.0 |
| | その他医療外収益 | 149,581 | 71,092 | 78,489 | 110.4 |
| | 特別利益 | 44,979 | 43,656 | 1,323 | 3.0 |

| | | | | (税抜) | (千円) |
|---|-----------|------------|------------|-----------|--------|
| 項 | 目 | 令和2年度見込 | 令和元年度 | 増減額 | 増減率(%) |
| 病 | 院事業費用 | 15,010,627 | 15,038,387 | △ 27,760 | △ 0.2 |
| | 医療費用 | 14,075,216 | 14,126,709 | △ 51,493 | △ 0.4 |
| | 給与費用 | 7,020,733 | 6,641,587 | 379,146 | 5.7 |
| | 給料 | 2,707,636 | 1,914,716 | 792,920 | 41.4 |
| | 手当 | 2,482,599 | 2,006,911 | 475,688 | 23.7 |
| | 賃金 | 0 | 311,402 | △ 311,402 | 皆減 |
| | 報酬 | 215 | 780,143 | △ 779,928 | △ 99.9 |
| | 法定福利費 | 861,926 | 832,603 | 29,323 | 3.5 |
| | 退職給付費 | 529,480 | 384,607 | 144,873 | 37.7 |
| | 賞与等引当金繰入額 | 438,877 | 411,205 | 27,672 | 6.7 |
| | 材料費用 | 3,333,197 | 3,546,994 | △ 213,797 | △ 6.0 |
| | 薬品費用 | 2,110,448 | 2,258,627 | △ 148,179 | △ 6.6 |
| | 投薬薬品 | 167,414 | 204,621 | △ 37,207 | △ 18.2 |
| | 注射薬品 | 1,743,238 | 1,839,672 | △ 96,434 | △ 5.2 |
| | その他薬品 | 199,796 | 214,334 | △ 14,538 | △ 6.8 |
| | 診療材料費 | 1,222,749 | 1,288,367 | △ 65,618 | △ 5.1 |
| | 経費 | 2,666,188 | 2,651,507 | 14,681 | 0.6 |
| | 光熱水費 | 244,481 | 269,417 | △ 24,936 | △ 9.3 |
| | 委託料 | 2,251,439 | 2,200,904 | 50,535 | 2.3 |
| | その他経費 | 170,268 | 181,186 | △ 10,918 | △ 6.0 |
| | 減価償却費 | 948,816 | 1,222,868 | △ 274,052 | △ 22.4 |
| | 資産減耗費 | 81,717 | 20,550 | 61,167 | 297.6 |
| | 研究研修費 | 24,565 | 43,203 | △ 18,638 | △ 43.1 |
| | 医療外費用 | 917,117 | 891,334 | 25,783 | 2.9 |
| | 支払利息 | 195,725 | 211,020 | △ 15,295 | △ 7.2 |
| | 長期前払消費税償却 | 54,221 | 54,496 | △ 275 | △ 0.5 |
| | 雑支出 | 667,171 | 625,818 | 41,353 | 6.6 |
| | 特別損失 | 18,294 | 20,344 | △ 2,050 | △ 10.1 |

5. 主要な経営指標の推移

| 項目 | 年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度見込 |
|--|----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 年間延入院患者数(人) (病床利用率)(%) | | 119,633 (86.3) | 124,731 (89.9) | 127,264 (91.8) | 124,247 (89.3) | 104,183 (75.1) |
| 年間延外来患者数(人) | | 200,570 | 205,519 | 207,980 | 212,180 | 174,383 |
| 入院患者1人1日当たり診療収入 (入院収益÷年間延入院患者数) (円) ※1 | | 64,664 | 67,437 | 67,450 | 68,740 | 73,688 |
| 外来患者1人1日当たり診療収入 (外来収益÷年間延外来患者数) (円) ※1 | | 17,810 | 17,468 | 18,953 | 20,186 | 22,619 |
| 当年度純損益(病院事業収益－病 院事業費用)(百万円)※1 | | 170 | 132 | 99 | △ 230 | △ 133 |
| 資金剰余額(百万円) | | 3,397 | 3,642 | 3,582 | 3,395 | 3,670 |
| 経常収支比率(経常収益÷経常費 用×100)(%) ※2 | | 101.5 | 101.1 | 100.6 | 98.3 | 98.9 |
| 経常収益に対する繰入金の割合 (%) | | 6.2 | 6.1 | 5.7 | 5.9 | 6.7 |
| 医業収支比率(医業収益÷医業費 用×100)(%) | | 97.8 | 97.7 | 97.2 | 95.4 | 86.7 |
| 医業収益に対する職員給与費の割 合(%) ※3 | | 45.7 | 46.1 | 47.1 | 46.2 | 57.3 |
| 医業収益に対する材料費の割合 (%) | | 26.0 | 25.9 | 26.6 | 26.3 | 27.3 |

※1 入院・外来患者1人1日当たり診療収入、及び当年度純損益は税抜き。

※2 地方公営企業における経常収支比率(経常費用に対する経常収益の割合)は、普通会計の経常収支比率と異なり、高いほどよく、100%を上回ると経常収支は黒字となる。

※3 令和2年度より、会計年度任用職員制度創設のため、地方公営企業会計による職員給与費の計算基準が変更された。

6. 収支の推移

(税抜) (百万円)

| 項目 | | 年度 | 平成 28年度 | 平成 29年度 | 平成 30年度 | 令和 元年度 | 令和 2年度見込 |
|-----------------------|---------|--------|------------|------------|------------|-----------|-------------|
| 収 益 的 収 支 | 病院事業収益 | | 13,170 | 13,873 | 14,449 | 14,808 | 14,878 |
| | 經常収益 | | 13,161 | 13,867 | 14,405 | 14,765 | 14,833 |
| | 医業収益 | | 11,942 | 12,640 | 13,155 | 13,476 | 12,198 |
| | 入院収益 | | 7,736 | 8,412 | 8,584 | 8,541 | 7,677 |
| | 外来収益 | | 3,572 | 3,590 | 3,942 | 4,283 | 3,944 |
| | その他医業収益 | | 634 | 638 | 629 | 652 | 577 |
| | 一般会計繰入金 | | 273 | 265 | 257 | 275 | 270 |
| | その他 | | 361 | 373 | 372 | 377 | 307 |
| | 医業外収益 | | 1,219 | 1,227 | 1,250 | 1,289 | 2,635 |
| | 一般会計繰入金 | | 548 | 578 | 568 | 592 | 718 |
| | その他 | | 671 | 649 | 682 | 697 | 1,917 |
| | 特別利益 | | 9 | 6 | 44 | 43 | 45 |
| | 病院事業費用 | | 13,000 | 13,741 | 14,350 | 15,038 | 15,011 |
| | 經常費用 | | 12,971 | 13,718 | 14,322 | 15,018 | 14,993 |
| | 医業費用 | | 12,215 | 12,935 | 13,532 | 14,127 | 14,076 |
| | 給与費 | | 5,855 | 6,239 | 6,535 | 6,642 | 7,021 |
| | 材料費 | | 3,105 | 3,269 | 3,497 | 3,547 | 3,333 |
| | 経費 | | 2,089 | 2,205 | 2,260 | 2,652 | 2,666 |
| | うち委託料 | | 1,758 | 1,855 | 1,895 | 2,201 | 2,251 |
| | 減価償却費 | | 1,083 | 1,127 | 1,153 | 1,223 | 949 |
| | その他 | | 83 | 95 | 87 | 63 | 107 |
| | 医業外費用 | | 756 | 783 | 790 | 891 | 917 |
| | 支払利息 | | 255 | 241 | 226 | 211 | 196 |
| その他 | | 501 | 542 | 564 | 680 | 721 | |
| 特別損失 | | 29 | 23 | 28 | 20 | 18 | |
| 經常損益 | | 190 | 149 | 83 | △ 253 | △ 160 | |
| 純損益 | | 170 | 132 | 99 | △ 230 | △ 133 | |
| 資 本 的 収 支 | 資本的収入 | | 934 | 1,150 | 1,026 | 1,536 | 1,430 |
| | 企業債 | | 351 | 600 | 430 | 846 | 549 |
| | 出資金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| | 負担金 | | 583 | 550 | 591 | 674 | 736 |
| | 補助金 | | 0 | 0 | 5 | 16 | 45 |
| | 資本的支出 | | 1,573 | 1,777 | 1,833 | 2,220 | 2,142 |
| 建設改良費 | | 507 | 778 | 754 | 976 | 776 | |
| 企業債償還金 | | 1,066 | 999 | 1,079 | 1,244 | 1,366 | |
| 利益剰余金 ※1 | | 969 | 1,101 | 1,200 | 970 | 837 | |
| 資金剰余額 ※2 | | 3,397 | 3,642 | 3,582 | 3,395 | 3,670 | |
| 企業債残高(3月末現在) | | 14,637 | 14,238 | 13,589 | 13,192 | 12,374 | |

※1 利益剰余金＝前年度利益剰余金＋当年度純損益

※2 資金剰余額＝年度末の流動資産－年度末の流動負債

7. 経営指標の増減、府下病院との比較

| 区 分 | | 算 式 | 令和 2年度 | 令和 元年度 | 元年度 府下5市 平均 |
|-----------------------|-----------------|--|-----------|-----------|-------------------|
| 一般病床利用率 (%) | | 年延入院患者数／年延病床数×100 | 75.1 | 89.3 | 83.0 |
| 1日平均患者数 (人) | 入 院 | 年延入院患者数／年間日数 | 285 | 339 | 333 |
| | 外 来 | 年延外来患者数／診療日数 | 718 | 877 | 941 |
| | 計 | 入 院 + 外 来 | 1,003 | 1,216 | 1,274 |
| 外 来 入 院 患 者 比 率 (%) | | 年延外来患者数／年延入院患者数×100 | 167.4 | 170.8 | 191.2 |
| 患者1人1日当たり 診療収入 (円) | 入 院 | 入院(外来)収益／年延入院(外来)患者数 | 73,688 | 68,740 | 61,787 |
| | 外 来 | | 22,619 | 20,186 | 16,439 |
| | 計 | | 41,719 | 38,118 | 32,095 |
| 患者1人1日当たり医療材料費(円) | | 医療材料費／年延入院外来患者数 | 11,966 | 10,543 | 8,604 |
| 薬 品 費 (投薬・注射薬) (円) | | 薬品費(試薬等除く)／年延入院外来患者数 | 6,859 | 6,076 | 4,928 |
| そ の 他 医 療 材 料 費 (円) | | その他医療材料費／年延入院外来患者数 | 5,107 | 4,467 | 3,675 |
| 医業収益に対する 割合 (%) | 職 員 給 与 費 | 職員給与費／医業収益×100 | 57.3 | 46.2 | 52.9 |
| | 医 療 材 料 費 | 医療材料費／医業収益×100 | 27.3 | 26.3 | 25.2 |
| | 経 費 | 経 費／医業収益×100 | 22.1 | 22.8 | 19.3 |
| | 委 託 料 | 委 託 料／医業収益×100 | 18.5 | 16.3 | 10.8 |
| | 減 価 償 却 費 | 減価償却費／医業収益×100 | 7.8 | 9.1 | 8.2 |
| | 企 業 債 利 息 | 企業債利息／医業収益×100 | 1.6 | 1.6 | 1.3 |
| 100床当たり職員 数 (人) | 医 師 | $\frac{\text{年度末職員数}}{\text{年度末許可一般病床数}} \times 100$ | 33.9 | 31.7 | 29.8 |
| | 看 護 部 門 職 員 | | 111.4 | 98.6 | 99.7 |
| | 薬 剤 部 門 職 員 | | 7.2 | 6.9 | 6.7 |
| | 事 務 部 門 職 員 | | 14.0 | 12.1 | 14.7 |
| | 給 食 部 門 職 員 | | 1.3 | 1.3 | 1.5 |
| | 放 射 線 部 門 職 員 | | 6.6 | 5.0 | 5.5 |
| | 臨 床 検 査 部 門 職 員 | | 6.0 | 5.3 | 7.6 |
| | そ の 他 職 員 | | 5.7 | 4.9 | 16.1 |
| | 全 職 員 | | 186.1 | 165.8 | 183.4 |

※地方公営企業決算報告の数値による。

※府下5市平均は、本市以外の病床300床以上の市立病院(豊中市、岸和田市、池田市、枚方市、箕面市)の数値の単純平均値。

8. 令和2年度の主な診療データ

(1) 入院

(1)-1 年間延患者数

| 診療科 | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 (①/②*100) |
|---------|----------|----------|-----------|-------------------|
| 内科 | 9,525人 | 6,561人 | 2,964人 | 145.2% |
| 消化器内科 | 11,543人 | 14,434人 | △ 2,891人 | 80.0% |
| 循環器内科 | 12,758人 | 15,532人 | △ 2,774人 | 82.1% |
| 腫瘍内科 | 4,267人 | 3,843人 | 424人 | 111.0% |
| 血液内科 | 7,066人 | 7,840人 | △ 774人 | 90.1% |
| 外科 | 18,705人 | 25,427人 | △ 6,722人 | 73.6% |
| 乳腺外科 | 3,038人 | 3,635人 | △ 597人 | 83.6% |
| 整形外科 | 8,753人 | 10,677人 | △ 1,924人 | 82.0% |
| 脳神経外科 | 1,806人 | 1,638人 | 168人 | 110.3% |
| 産婦人科 | 8,740人 | 9,942人 | △ 1,202人 | 87.9% |
| 小児科 | 5,032人 | 7,697人 | △ 2,665人 | 65.4% |
| 耳鼻咽喉科 | 4,097人 | 5,962人 | △ 1,865人 | 68.7% |
| 形成外科 | 2,025人 | 2,898人 | △ 873人 | 69.9% |
| 皮膚科 | 0人 | 24人 | △ 24人 | 皆 減 |
| 泌尿器科 | 5,683人 | 6,663人 | △ 980人 | 85.3% |
| 放射線科 | 82人 | 103人 | △ 21人 | 79.6% |
| 歯科口腔外科 | 1,063人 | 1,371人 | △ 308人 | 77.5% |
| 【 合 計 】 | 104,183人 | 124,247人 | △ 20,064人 | 83.9% |

(1)-2 診療科別 入院収益

| 診療科 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|---------|-------------|--------|-----------------|-------------|--------|-----------------|
| | 入院収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 | 入院収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 |
| 内科 | 517,256千円 | 6.7% | 54,305円 | 307,526千円 | 3.6% | 46,872円 |
| 消化器内科 | 592,716千円 | 7.7% | 51,349円 | 648,787千円 | 7.6% | 44,949円 |
| 循環器内科 | 1,294,590千円 | 16.9% | 101,473円 | 1,452,856千円 | 17.0% | 93,540円 |
| 腫瘍内科 | 218,101千円 | 2.8% | 51,113円 | 186,637千円 | 2.2% | 48,565円 |
| 血液内科 | 356,721千円 | 4.7% | 50,484円 | 370,820千円 | 4.3% | 47,299円 |
| 外科 | 1,529,993千円 | 19.9% | 81,796円 | 1,869,540千円 | 21.9% | 73,526円 |
| 乳腺外科 | 268,667千円 | 3.5% | 88,435円 | 292,825千円 | 3.4% | 80,557円 |
| 整形外科 | 669,964千円 | 8.7% | 76,541円 | 739,998千円 | 8.7% | 69,308円 |
| 脳神経外科 | 141,144千円 | 1.8% | 78,153円 | 145,339千円 | 1.7% | 88,730円 |
| 産婦人科 | 728,625千円 | 9.5% | 83,367円 | 793,031千円 | 9.3% | 79,766円 |
| 小児科 | 349,545千円 | 4.6% | 69,464円 | 517,629千円 | 6.1% | 67,251円 |
| 耳鼻咽喉科 | 303,157千円 | 4.0% | 73,995円 | 393,561千円 | 4.6% | 66,012円 |
| 形成外科 | 228,575千円 | 3.0% | 112,877円 | 297,988千円 | 3.5% | 102,825円 |
| 皮膚科 | 0千円 | 0.0% | - | 845千円 | 0.0% | 35,208円 |
| 泌尿器科 | 402,492千円 | 5.2% | 70,824円 | 430,571千円 | 5.0% | 64,621円 |
| 放射線科 | 4,875千円 | 0.1% | 59,451円 | 6,306千円 | 0.1% | 61,223円 |
| 歯科口腔外科 | 70,661千円 | 0.9% | 66,473円 | 86,499千円 | 1.0% | 63,092円 |
| 【 合 計 】 | 7,677,082千円 | 100.0% | 73,688円 | 8,540,758千円 | 100.0% | 68,740円 |

※患者1人1日当たり収入は入院収益を延患者数で除したものの。

(1)－3 診療行為別収入

| 行 為 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----------|-------------|--------|-----------------|-------------|--------|-----------------|
| | 入院収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 | 入院収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 |
| 投薬・注射収入 | 533,285千円 | 6.9% | 5,119円 | 600,856千円 | 7.0% | 4,836円 |
| 処置・手術収入 | 2,887,399千円 | 37.6% | 27,715円 | 3,188,162千円 | 37.3% | 25,660円 |
| 検査・放射線収入 | 519,220千円 | 6.8% | 4,984円 | 574,544千円 | 6.7% | 4,624円 |
| 入院料 | 3,234,670千円 | 42.1% | 31,048円 | 3,644,319千円 | 42.7% | 29,331円 |
| その他 | 502,508千円 | 6.6% | 4,823円 | 532,877千円 | 6.3% | 4,289円 |
| 【合計】 | 7,677,082千円 | 100.0% | 73,688円 | 8,540,758千円 | 100.0% | 68,740円 |

(1)－4 病床利用率

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 |
|-------|--------|--------|---------|-------|
| 病床利用率 | 75.1% | 89.3% | △ 14.2% | 84.1% |

(1)－5 新入院患者数

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 |
|--------|--------|---------|----------|-------|
| 新入院患者数 | 9,907人 | 11,461人 | △ 1,554人 | 86.4% |

(1)－6 退院患者数

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 |
|-------|--------|---------|----------|-------|
| 退院患者数 | 9,911人 | 11,469人 | △ 1,558人 | 86.4% |

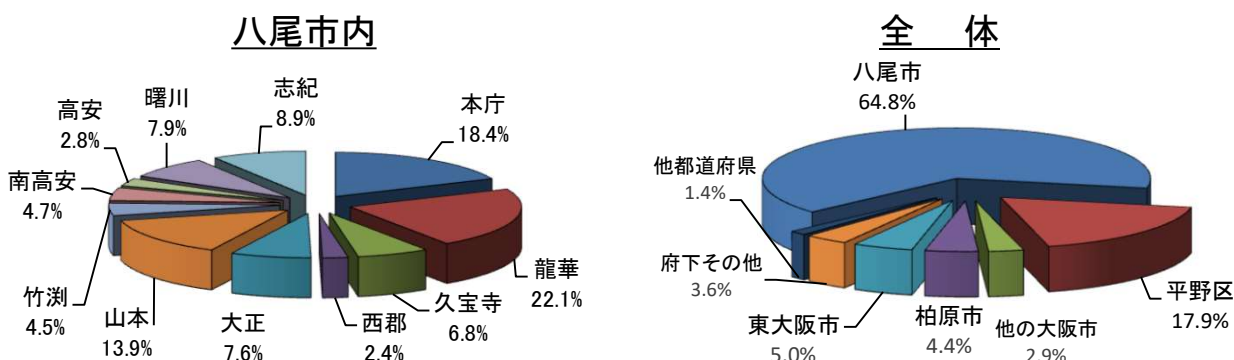
(1)－7 平均在院日数

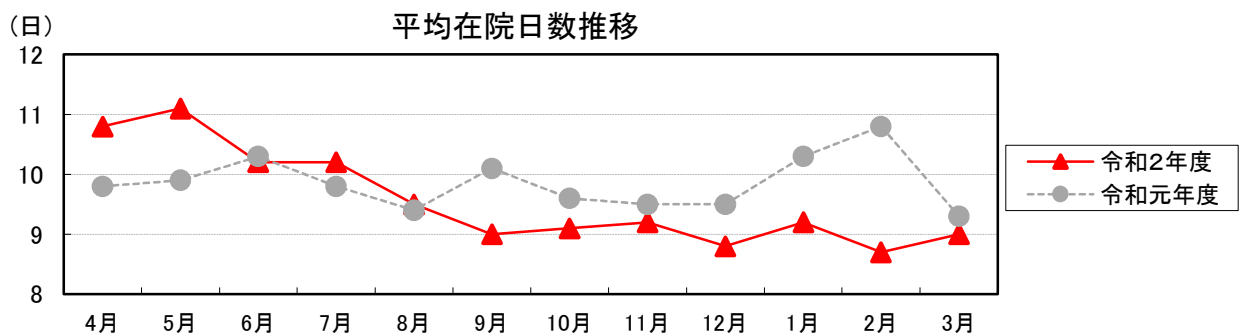
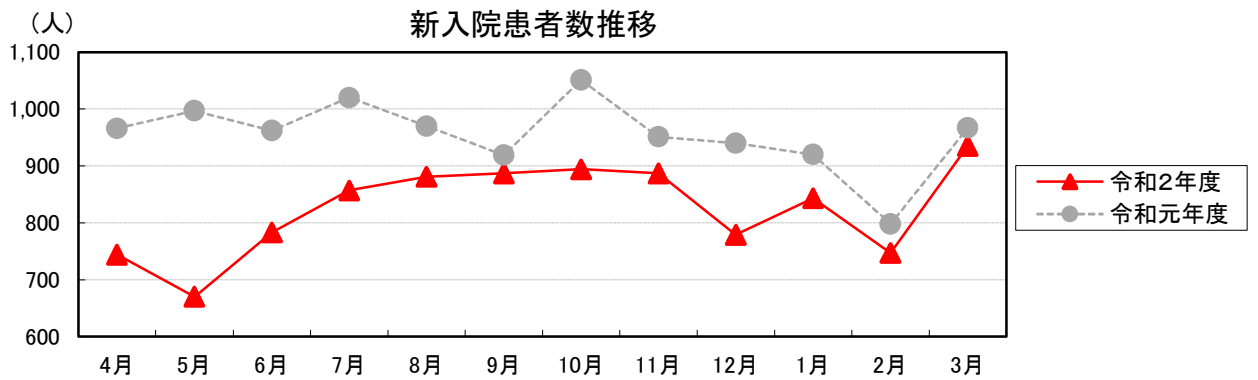
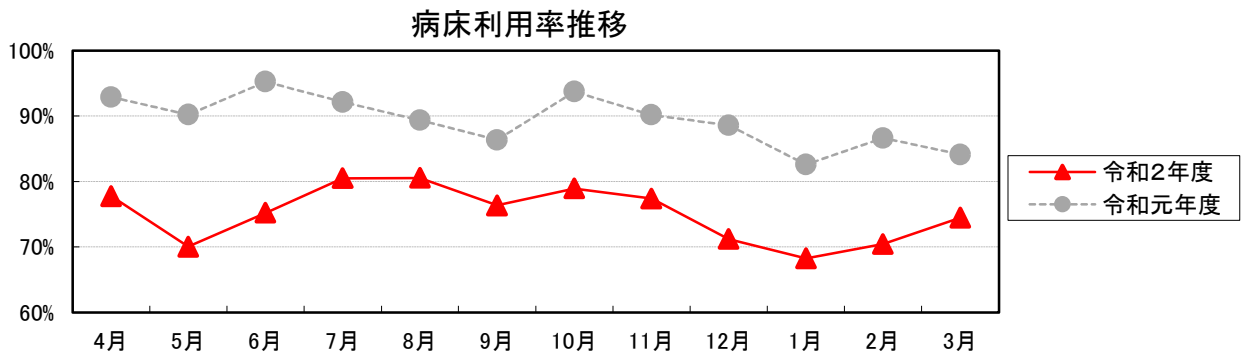
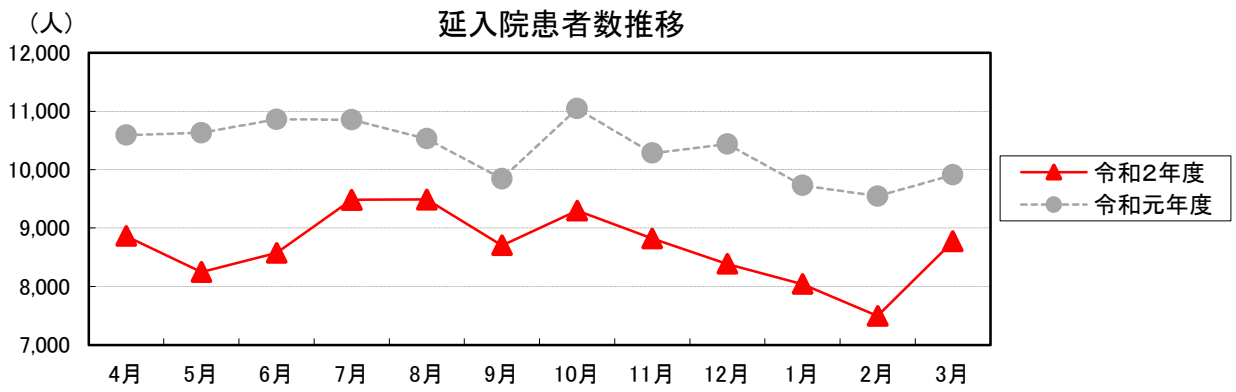
| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 |
|--------|--------|--------|---------|-------|
| 平均在院日数 | 9.5日 | 9.8日 | △ 0.3日 | 96.9% |

(1)－8 患者1人1日当たり診療収入

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 |
|-------------|---------|---------|---------|--------|
| 1人1日当たり診療収入 | 73,688円 | 68,740円 | 4,948円 | 107.2% |

(1)－9 地域別入院患者の分布(令和2年度)





(2) 外来

(2)-1 年間延患者数

| 診療科 | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 (①/②*100) |
|------------|----------|----------|-----------|-------------------|
| 内科 | 18,131人 | 23,277人 | △ 5,146人 | 77.9% |
| 消化器内科 | 12,278人 | 15,786人 | △ 3,508人 | 77.8% |
| 循環器内科 | 7,339人 | 8,708人 | △ 1,369人 | 84.3% |
| 腫瘍内科 | 1,512人 | 1,079人 | 433人 | 140.1% |
| 血液内科 | 3,870人 | 4,112人 | △ 242人 | 94.1% |
| 外科 | 14,558人 | 15,657人 | △ 1,099人 | 93.0% |
| 乳腺外科 | 7,099人 | 7,647人 | △ 548人 | 92.8% |
| 整形外科 | 8,808人 | 10,125人 | △ 1,317人 | 87.0% |
| 脳神経外科 | 3,823人 | 4,095人 | △ 272人 | 93.4% |
| 産婦人科 | 17,322人 | 20,479人 | △ 3,157人 | 84.6% |
| 小児科 | 13,548人 | 22,299人 | △ 8,751人 | 60.8% |
| 眼科 | 622人 | 756人 | △ 134人 | 82.3% |
| 耳鼻咽喉科 | 10,949人 | 14,036人 | △ 3,087人 | 78.0% |
| 形成外科 | 7,821人 | 9,014人 | △ 1,193人 | 86.8% |
| 皮膚科 | 1,760人 | 3,137人 | △ 1,377人 | 56.1% |
| 泌尿器科 | 14,247人 | 16,932人 | △ 2,685人 | 84.1% |
| 放射線科 | 8,874人 | 9,441人 | △ 567人 | 94.0% |
| リハビリテーション科 | 819人 | 1,373人 | △ 554人 | 59.7% |
| 麻酔科 | 1,294人 | 1,282人 | 12人 | 100.9% |
| 歯科口腔外科 | 8,264人 | 9,589人 | △ 1,325人 | 86.2% |
| 救急診療科 | 11,445人 | 13,356人 | △ 1,911人 | 85.7% |
| 【 合 計 】 | 174,383人 | 212,180人 | △ 37,797人 | 82.2% |

※救急診療科については、救急外来で対応した患者を表記している。

(2)-2 診療科別 外来収益

| 診療科 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|------------|-------------|--------|-----------------|-------------|--------|-----------------|
| | 外来収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 | 外来収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 |
| 内科 | 279,942千円 | 7.1% | 15,440円 | 344,522千円 | 8.0% | 14,801円 |
| 消化器内科 | 184,440千円 | 4.7% | 15,022円 | 244,180千円 | 5.7% | 15,468円 |
| 循環器内科 | 98,077千円 | 2.5% | 13,364円 | 119,903千円 | 2.8% | 13,769円 |
| 腫瘍内科 | 219,546千円 | 5.6% | 145,202円 | 127,160千円 | 3.0% | 117,850円 |
| 血液内科 | 246,435千円 | 6.2% | 63,678円 | 265,299千円 | 6.2% | 64,518円 |
| 外科 | 722,386千円 | 18.3% | 49,621円 | 792,915千円 | 18.5% | 50,643円 |
| 乳腺外科 | 529,052千円 | 13.4% | 74,525円 | 510,231千円 | 11.9% | 66,723円 |
| 整形外科 | 75,247千円 | 1.9% | 8,543円 | 88,509千円 | 2.1% | 8,742円 |
| 脳神経外科 | 51,140千円 | 1.3% | 13,377円 | 52,497千円 | 1.2% | 12,820円 |
| 産婦人科 | 125,589千円 | 3.2% | 7,250円 | 147,129千円 | 3.4% | 7,184円 |
| 小児科 | 365,015千円 | 9.3% | 26,942円 | 458,916千円 | 10.7% | 20,580円 |
| 眼科 | 3,287千円 | 0.1% | 5,285円 | 5,281千円 | 0.1% | 6,985円 |
| 耳鼻咽喉科 | 102,312千円 | 2.6% | 9,344円 | 120,063千円 | 2.8% | 8,554円 |
| 形成外科 | 58,955千円 | 1.5% | 7,538円 | 63,160千円 | 1.5% | 7,007円 |
| 皮膚科 | 5,863千円 | 0.1% | 3,331円 | 10,262千円 | 0.3% | 3,271円 |
| 泌尿器科 | 344,807千円 | 8.7% | 24,202円 | 386,043千円 | 9.0% | 22,800円 |
| 放射線科 | 232,895千円 | 5.9% | 26,245円 | 255,737千円 | 6.0% | 27,088円 |
| リハビリテーション科 | 3,905千円 | 0.1% | 4,768円 | 4,705千円 | 0.1% | 3,427円 |
| 麻酔科 | 3,314千円 | 0.1% | 2,561円 | 2,945千円 | 0.1% | 2,297円 |
| 歯科口腔外科 | 78,856千円 | 2.0% | 9,542円 | 97,462千円 | 2.3% | 10,164円 |
| 救急診療科 | 213,232千円 | 5.4% | 18,631円 | 186,204千円 | 4.3% | 13,942円 |
| 【 合 計 】 | 3,944,295千円 | 100.0% | 22,619円 | 4,283,123千円 | 100.0% | 20,186円 |

※患者1人1日当たり収入は外来収益を延患者数で除したものの。

(2)－3 診療行為別収入

| 行 為 | 令和2年度 | | | 令和元年度 | | |
|----------|-------------|--------|-----------------|-------------|--------|-----------------|
| | 外来収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 | 外来収益 | 構成比率 | 患者1人1日 当たり収入 |
| 初診・再診料 | 194,412千円 | 4.9% | 1,115円 | 277,325千円 | 6.5% | 1,307円 |
| 投薬・注射収入 | 1,751,290千円 | 44.4% | 10,043円 | 1,784,984千円 | 41.7% | 8,413円 |
| 処置・手術収入 | 108,504千円 | 2.7% | 622円 | 140,917千円 | 3.3% | 664円 |
| 検査・放射線収入 | 1,359,025千円 | 34.5% | 7,793円 | 1,496,569千円 | 34.9% | 7,052円 |
| その他 | 531,064千円 | 13.5% | 3,045円 | 583,328千円 | 13.6% | 2,749円 |
| 【合計】 | 3,944,295千円 | 100.0% | 22,618円 | 4,283,123千円 | 100.0% | 20,186円 |

(2)－4 初診患者数

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 (①/②*100) |
|-------|---------|---------|-----------|-------------------|
| 初診患者数 | 23,545人 | 35,749人 | △ 12,204人 | 65.9% |

(2)－5 再診患者数

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 (①/②*100) |
|-------|----------|----------|-----------|-------------------|
| 再診患者数 | 150,838人 | 176,431人 | △ 25,593人 | 85.5% |

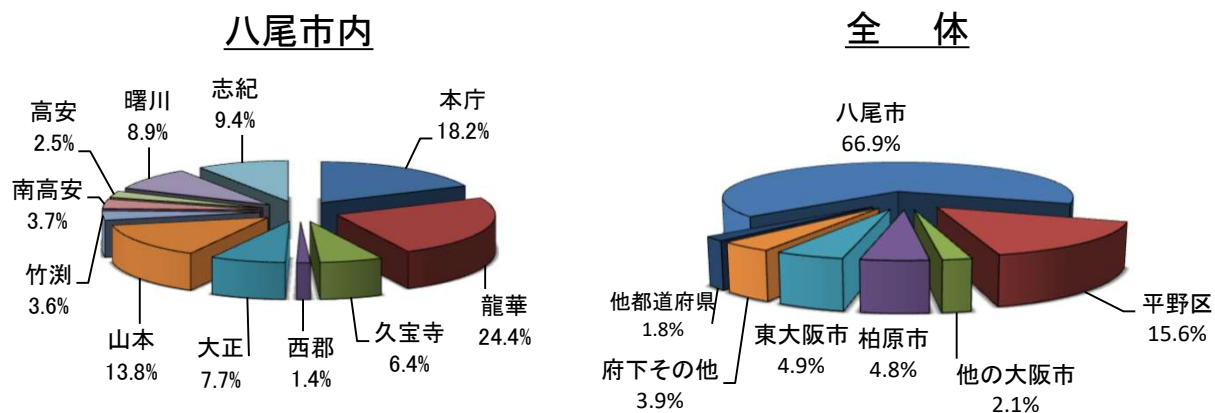
(2)－6 平均通院回数

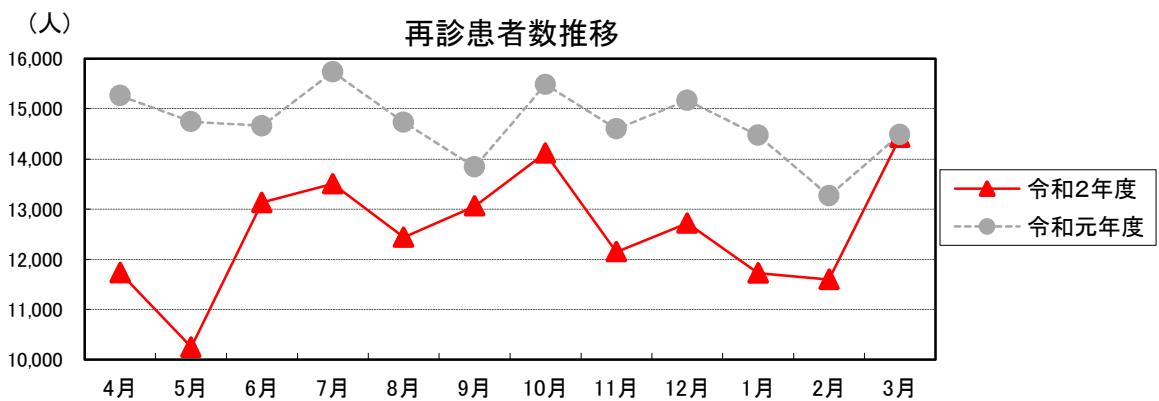
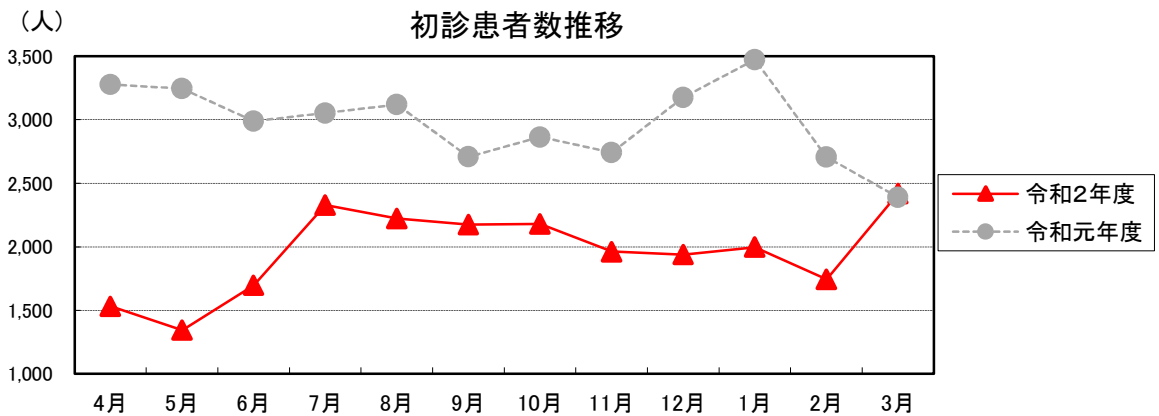
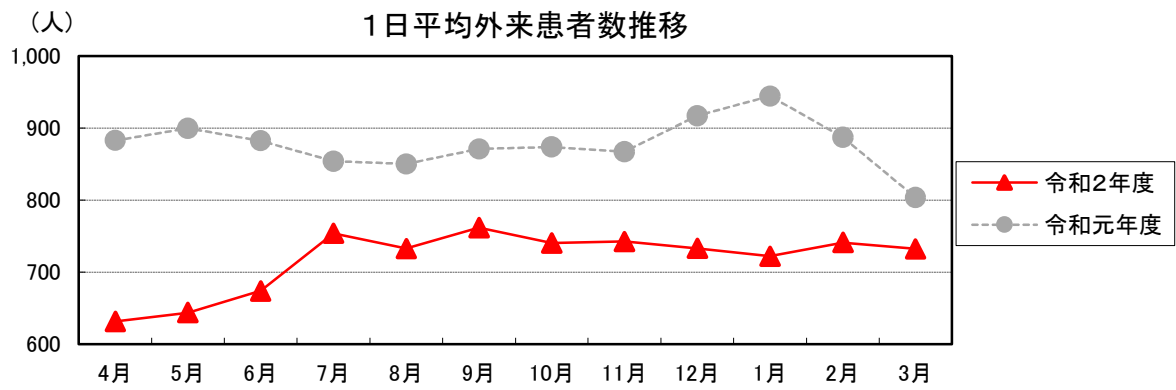
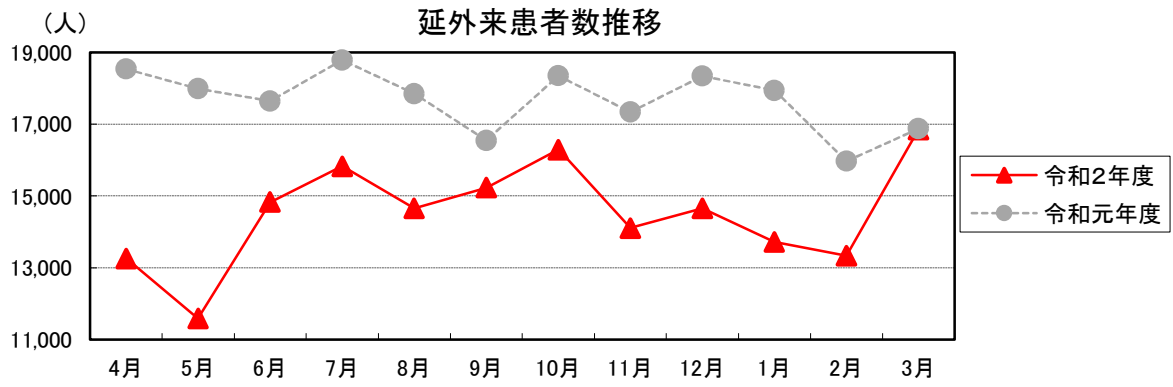
| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 (①/②*100) |
|--------|--------|--------|---------|-------------------|
| 平均通院回数 | 7.4回 | 5.9回 | 1.5回 | 125.5% |

(2)－7 患者1人1日当たり診療収入

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 (①/②*100) |
|-------------|---------|---------|---------|-------------------|
| 1人1日当たり診療収入 | 22,619円 | 20,186円 | 2,433円 | 112.1% |

(2)－8 地域別外来患者の分布(令和2年度)





(3) 紹介率・逆紹介率

(3)－1 紹介率、逆紹介率

| | ①令和2年度 | ②令和元年度 | 増減(①-②) | 対前年度 (①/②*100) |
|---------|--------|---------|----------|-------------------|
| 初診紹介患者数 | 9,884人 | 11,996人 | △ 2,112人 | 82.4% |
| 紹介率 | 57.6% | 54.7% | 2.9% | 105.3% |
| 逆紹介率 | 85.9% | 80.5% | 5.4% | 106.7% |

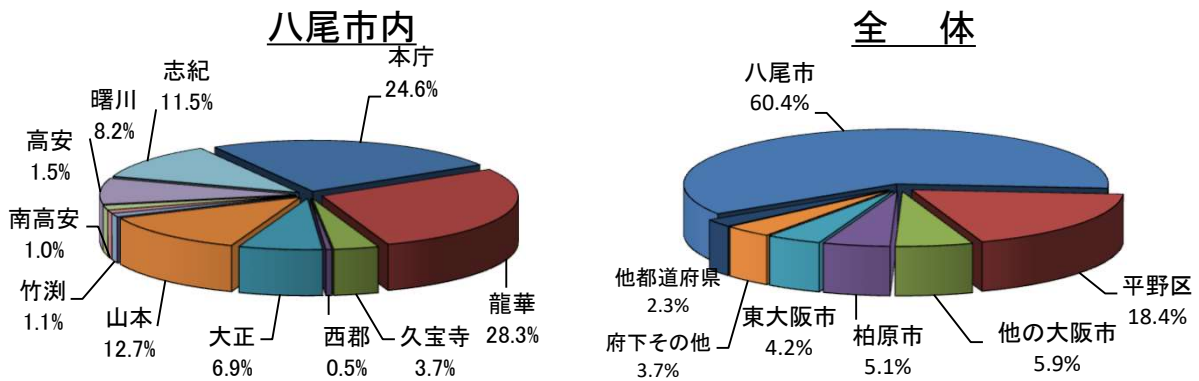
【紹介率算出式】

$$\frac{\text{紹介患者数(文書により紹介された患者の数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

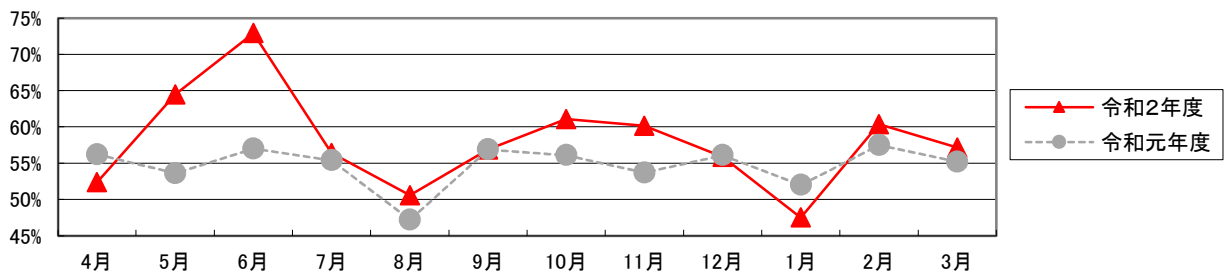
【逆紹介率算出式】

$$\frac{\text{逆紹介患者数(診療情報提供料を算定した患者数)}}{\text{初診患者数(休日・夜間初診患者数と救急自動車搬送初診患者数を除く)}}$$

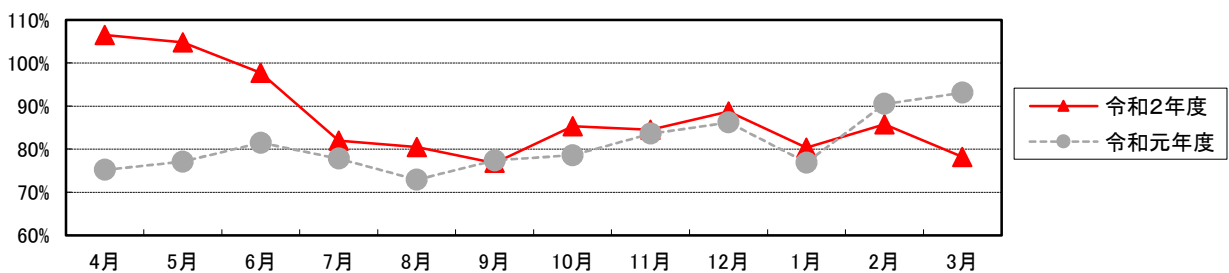
(3)－2 紹介元医療機関の分布(令和2年度)



紹介率推移



逆紹介率推移



9. 具体的取り組みに係る数値目標の達成状況

| 項目 \ 年度 | 令和元年度 決算 (a) | 令和2年度 経営計画 (b) | 令和2年度 決算見込 (c) | 令和2見込 -元決算 (c)-(a) | 令和2見込 -2計画 (c)-(b) | 計画に対す る達成率(%) (c)÷(b)× 100 |
|----------------------------|--------------------|----------------------|----------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------------------|
| 初診紹介患者数(人) | 11,996 | 13,390 | 9,884 | △ 2,112 | △ 3,506 | 73.8 |
| 逆紹介(診療情報提供)件数(件) | 17,658 | 18,500 | 14,733 | △ 2,925 | △ 3,767 | 79.6 |
| 紹介率(%) | 54.7 | 50.0 | 57.6 | 2.9 | 7.6 | 115.2 |
| 逆紹介率(%) | 80.5 | 70.0 | 85.9 | 5.4 | 15.9 | 122.7 |
| 新入院患者数(人) | 11,461 | 11,300 | 9,907 | △ 1,554 | △ 1,393 | 87.7 |
| 救急搬送受入数(人) | 4,263 | 4,100 | 3,727 | △ 536 | △ 373 | 90.9 |
| 救急からの入院数(人) | 2,758 | 2,600 | 2,702 | △ 56 | 102 | 103.9 |
| 手術件数(件) | 5,052 | 4,600 | 4,278 | △ 774 | △ 322 | 93.0 |
| 全身麻酔手術件数(件) | 3,483 | 3,240 | 2,901 | △ 582 | △ 339 | 89.5 |
| 鏡視下手術件数(件) | 1,057 | 950 | 916 | △ 141 | △ 34 | 96.4 |
| がん患者数(人) | 2,598 | 2,300 | 2,232 | △ 366 | △ 68 | 97.0 |
| がん手術件数(件) | 1,333 | 1,270 | 1,131 | △ 202 | △ 139 | 89.1 |
| 放射線治療件数(件) | 8,181 | 8,450 | 7,097 | △ 1,084 | △ 1,353 | 84.0 |
| 外来化学療法件数(件) | 5,206 | 4,850 | 5,318 | 112 | 468 | 109.6 |
| 分娩取扱い件数(件) | 811 | 800 | 730 | △ 81 | △ 70 | 91.3 |
| クリニカルパス適用率(%) | 80.7 | 65.0 | 86.0 | 5.3 | 21.0 | 132.3 |
| 後発医薬品指数(%) | 94.4 | 88.0 | 93.9 | △ 0.5 | 5.9 | 106.7 |
| 病診薬ネットワークシステム情報共有 件数(件) | 3,267 | 1,500 | 3,586 | 319 | 2,086 | 239.1 |

<指標の算出方法>

| | |
|---------------|--|
| クリニカルパス適用率(%) | 院内クリニカルパスを適用した患者数÷新入院患者数×100 |
| 後発医薬品指数(%) | [後発医薬品の数量]÷([後発医薬品のある先発医薬品の数量]+ [後発医薬品の数量])×100 ・指標が一定以上のDPC対象病院について、診療報酬の請求点数 が加算される。(現行は60.0以上) |